

令和 5 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市日光コミュニティセンター	所管課	男女共生・生涯学習推進課
所在地	岐阜市日光町九丁目1番地3		
指定管理者名	岐阜市日光コミュニティセンター運営委員会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	18,441,050円(令和5年度)		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること		
施設概要	敷地面積 3,838.26㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 2,023.90㎡ 多目的室、教養娯楽室、集会室、会議室、サークル室、大集会室、駐車場 岐阜市日光事務所(併設施設)、岐阜市日光ふれあい保健センター(併設施設)、岐阜市日光児童センター(併設施設)		

●利用状況

		R05 上半期	R04 下半期	R04 上半期	R03 下半期	R03 上半期
利用者数(単位:人)		25,979	20,416	21,028	22,286	8,536
各室稼働状況(%)	多目的室	86.0	80.1	75.2	60.3	57.1
	教養娯楽室	26.8	29.8	14.6	13.9	1.0
	集会室	72.0	74.2	72.6	70.2	64.3
	会議室	43.3	53.0	47.8	45.7	39.8
	サークル室	91.7	92.1	91.7	93.4	86.7
	大集会室	90.4	97.4	86.0	87.4	86.7

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている ②適切な運用が行われている ③各行事ごとにチラシを作成し区域の住民に開催を周知している ④利用者アンケート、窓口での意見に対応しサービスに反映させている(例:空調設備のきめ細かな監視、操作、修繕)
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施(上半期) ①サークル発表会 ②自主講座 ③防災訓練	①サークル発表会 ②自主講座は下半期に実施予定 ③防災訓練(春季)は6月に実施済 防災訓練(冬季)は12月(下半期)に実施予定

施設管理	日常点検 ①消防設備点検(自主点検) ②不審者、危険物(自主点検) 法定点検 ①昇降機保守点検(年1回) 定期点検 ①昇降機保守点検(年12回)	日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし 法定点検 ①6月実施 定期点検 ①4～3月まで月ごとに実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中から迅速に対応(音響、照明等)
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミセン条例に基づき実施 ②年2回の避難訓練を実施 ③関連法令を遵守 上記により問題は発生していない

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	令和 5年8月1日～8月31日(回答数:54件)				
利用者アンケートの実施結果	利用室 多目的室 16.67 % 教養娯楽室 0 % 集会室 12.96 % 会議室 3.70 % サークル室 37.04 % 大集会室 25.93 % 満足度 満足A やや満足B 普通C やや不満D 不満E スタッフ対応 A 69.23 % B 13.46 % C 17.31 % D 0 % E 0 % 施設設備 A 47.06 % B 27.45 % C 21.57 % D 3.92 % E 0 % 全体 A 43.75 % B 35.42 % C 20.83 % D 0 % E 0 % 年代 10歳未満 0% 10代 1.9% 20代 0% 30代 14.8% 40代 13.0% 50代 14.8% 60代 18.5 % 70代 29.6% 80代以上 7.4%				
利用者からの要望・苦情と対応・改善	トイレの洋式化 → 2Fトイレの修繕について市と協議している				

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	岐阜市日光コミュニティセンターの運営上の基本方針、平等利用を確保するための体制	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の 内容が、対象施設の 効用（設置 目的）を最大限発揮 するものであること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供されているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備等の整備など）	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の 内容が、管理経費の 縮減が図られるものであること	指定管理に関する経費の設定額の妥当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造、スタッフの配置	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に 沿った管理を安定して 行う物的能力、人的 能力を有していること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方針	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の 内容が、岐阜市ある いは施設がある特定の 地域（以下「地元」とい う。）の振興、活性化 などに貢献できるものであること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一体となって、地域を巻き込んだイベント、社会活動の開催など	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織であり、地域に密着した運営が行われているか	A	A	A
		地元の住民の雇用及び貢献に関すること	・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員として採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み に対する評価	①4月から事務局体制が3名から2名となったが(1名→大病にて退職)施設利用者に迷惑をかけることなく業務を遂行した。 ②防犯対策として北警察署には随時訪問を願い、緊急連絡体制も整えている。 ③各設備業者と随時連絡ができる体制を取っており、緊急時にも対応している。 ④燃料費や光熱費削減対策として、こまめなスイッチのオンオフなどに努めた結果、今期の夏は極めて高温であったにもかかわらず灯油使用量は少なかった昨年度並みとなった。
前回までの意見の 取組み状況	①従来、高齢者の利用が多かったが、昨今地元学生などにも日光コミセンの施設内容、バスなど交通の利便性などが伝わり、多くの学生サークルに利用されるようになった。 ②従来より他のコミセンとは常に意見交換、情報交換を行っている。他のコミセンの先進的な行事(講演会、コンサートなど)にも出席し事業の参考にしている。 ③アンケート項目については、利用者のニーズを明確に把握するため、市及び他のコミセンと検討してゆきたい。
今後の取組み	①施設竣工(S61)から38年目となり、設備等の経年劣化が懸念される。ハードのアセットマネジメントについて市と協議し対処していく。 ②昨今の社会情勢の動向から、R5年度も公共料金～通常の物品まで大幅な価格上昇が見込まれる。より一層の経費削減に努めると共に、年度末には問題なく決算が終了するよう市と綿密に連携を図る。 ③現在、職員が1名欠員の状態(3名→2名)であり、アルバイト等を駆使しているが、残る職員2名、健康に留意すると共に役員会を中心に事務局の人事について詰めてゆきたい。

●所管課の意見

今年度上半期は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、消毒といった感染症対策は利用者の任意となったが、引き続き感染症対策用品を設置し、利用者が安心して利用できるように努めた。サークル発表会や防災訓練といった運営委員会事業を複数実施し、地域交流の場を創出した。また、電気代が高騰する中、こまめに電源を切るといった職員の細かな配慮により電気代縮減に努めている。加えて施設管理の面では、集会室のカーテンレール修繕や、大集会室の音響修繕など、利用者に効果的な修繕を複数実施した。

8月に実施したアンケートの結果、施設設備の満足度は74.5%、全体的な満足度は79.2%と評価されている。今後はより一層施設管理運営や職員の日頃の接遇意識に期待したい。

運営組織は、地域の自治会連合会をはじめ、各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・適切な管理運営がなされている。
- ・館内が清潔に保たれており、管理運営に気を使っていることが窺われ良いと思う。
- ・若い世代の利用が少ないことから、学生などにもっと利用してもらえるような工夫があると良い。